



特定非営利  
活動法人 **茨城県がん地域医療を考える会** 会報第8号

平成29年度 がん患者会・サロン参加者の交流会と世話役のスキルアップ研修会と第2回県民公開講座

日時 平成29年11月25日(土)  
9:00 がん患者会・サロン参加者の交流会  
13:00 第2回県民公開講座  
場所 水戸医療センター2F 地域医療研修センター

<目的>

がん対策基本法と県がん条例に準拠し、県内がん診療拠点病院と指定病院にがんサロンを開設。サロン参加者の交流と運営を担っている世話役(リーダー)のスキルアップ研修会。並びに、がんについての正しい理解のための啓発とがん教育の在り方を問う公開講座を合わせておこなう。

<内容>

第一部(9:00～) がん患者会・サロン参加者の交流会と世話役のスキルアップ研修会  
挨拶 **NPO法人茨城県がん地域医療を考える会**  
座長 **佐藤、未定**  
(1) 県内患者会・サロンの現状  
**県がん対策推進室**  
(2) 患者会・サロン世話役の報告:  
**世話役、サロン担当病院関係者**

討論

[ねらい]

県内がん患者会・サロンに参加している皆さんが交流し、相互の体験を報告・学び合い、サロンの継続発展のための世話役・リーダーのスキルアップを図る。

第二部(13:00) 第2回県民公開講座

挨拶: **NPO法人茨城県がん地域医療を考える会**  
水戸医療センター山口院長 (5分)  
県保健予防課 (5分)

座長: **いばらき診療所みと 西村院長、**  
報告: 県内がん患者会・サロンの現状と今後 —  
**NPO法人茨城県がん地域医療を考える会 20分**  
講演: 第四次茨城県がん対策推進計画の概要  
**県がん対策推進室 (25分)**

座長: **水戸医療センター米野副院長、**  
講演・体験発表: **がん教育実施校担当者、がんサバイバー (15分×4)**

特別講演: 「がん情報とがん教育」日大武蔵小杉病院 腫瘍内科医 勝俣範之医師 (50分)

[ねらい]

がんの治療と療養上のサロンの有意性と活動の広報。県がん条例と第四次茨城県がん対策推進計画について」を前半で討議。後半はがん教育の取り組み状況を担当教師とがんサバイバーが報告。最後に、「がん情報とがん教育」について、全国視野で勝俣範之先生に講演頂く。 文責 佐藤

がん患者サロン 友部やまびこ 3周年セレモニーを終えて

友部やまびこ代表世話人 佐藤好威

平成29年6月5日、県立中央病院がんサロン友部やまびこ開設3周年セレモニーが病院内災害医療センターで開催された。

13:00 ちょっと前に、開会宣言、世話人が、「サロンではがん患者やその家族が集まり、病気、お金、看病の不安などが吐露され、病気の先輩から参考意見などを聞いています。解決はできませんが生きる力を貰っています。」と語り、挨拶しました。次いで、看護局長が「患者が抱える問題は、専門職だけでは対応しきれないものがある。サロンはそれを補ってくれている。長く続けて欲しい。医療者はそのお手伝いをします」と述べた。県がん担当者は、「サロン開設3周年への敬意を表し、当会が県内サロンのモデルになることを期待します」と話した。

吉川院長の記念講演「がんの臨床研究」は、サロンの話題としてはちょっと難しかったが、巷にあふれるがん情報の信ぴょう性の背景を話してくれた。冒頭の医療研究者主導の臨床試験の位置づけや疫学研究の大切さの話は意味深かった。気になったのは、日本の医学論文発表数は米国について2番目に多いが、一流臨床医学雑誌への掲載論文数はかなり少ない、さらに研究デザインでも米国と比較すると貧弱であると紹介した。その背景には医学研究への予算の貧弱さがあるらしい。にもかかわらず、世界的に貴重な研究結果の発表も行っているとの事例をいくつか紹介した。最後に、疫学研究・臨床研究は、治療法や診断法の開発には極めて重要だと述べ、これらの研究を進めることにより、科学的根拠に基づいた(EBM)診療能力を医師自身が身に着けることが出来る」と話し、講演を結んだ。

かなり、高度な内容だったが、医師のみならず患者も勉強せねばならないと主張しているようで、身が引き締まった。

セレモニー後半は、音楽と体操のアトラクションだった。ギター演奏グループ: アルペジオのメンバ

一は、主として定年退職後の方々の構成で、昭和の歌謡曲、上を向いて歩こう、高校三年生、瀬戸の花嫁などを演奏した。会場から遠慮深げに口ずさむ歌が聞こえてきた。2番手は、本格的な音楽教育を受けてきたハーモニアアンサンブルが、キーボードとフルートの伴奏で、ソプラノ、アルトの歌手が、アメージング・グレースやアベマリアなどを聞かせてくれた。両グループは、65歳以上の人ならだれでも知っているような選曲を演奏してくれたが、いかんせん歌詞が思い出せず、少々、満足感が薄かった。

リハビリ体操は、いつものインストラクターが、



楽しく優しくリードし、25分間、うっすらと汗をかく時間となった。老体には、右と左の異なる動作はなんともはや難しかった。

進行係田口さんは、自作の

フラワーアレンジメントの作品を4個、会場で無料提供。じゃんけんで勝ち抜いた方に差し上げると宣言。会場は大騒動となった。

最後に、理事長が世話人代表として、演者・参加者への感謝の言葉を以下のように述べた。

がんサロン「友部やまびこ」3周年セレモニーに、ご参集くださり有難うございました。以上で滞りなくセレモニーを終えることが出来ました。院長先生、看護局長さん、県担当者等の皆さん、ご講演、ご挨拶有難うございました。そして、何よりもご列席くださいました患者家族の皆さま有難うございました。

短いようで長かった3年です。山も谷もありました。そこから得た教訓は、「めげない」ということと「学ぶ」ということでした。3年間で、世話役以外誰も参加者がなかった日もありました。それでも、2時間待っていました。我慢の時間でした。一方、行きかうサロン参加者の方から、いろいろなお話し、体験談を聞かせてもらいました。時には、話し手と同じ涙を流したこともありました。

生きることは、物語を編むことだと言われています。いくつもの分かれ道や曲がり角で、思い悩み判断を求められます。そこで、判断の基礎となるのは、多くの方の生き様の体験のお話です。あるいは無数の書籍や記録を読むことです。聴くこと、読むことは生きる力だとノンフィクション作家柳田邦夫氏は述べています。その通りだと思います。そして、迷ったこと乗り越えたことを記録し書き残すことは、物語を編むことになると思います。

今、友部やまびこも毎回サロン便りを発行しています。参加者に書いて頂いています。参加者の感想や思いが綴られていますし、会の記録でもあります。

サロン参加者のみなさん、聴いて、読んで、書いてください。自分の物語を編んでください。本日は、その一歩であります。本日はありがとうございました。

## がん患者サロン なでしこ便りより なでしこ3周年記念セレモニー

がんサロンなでしこ世話人 友部登

5月11日(木) がんサロンなでしこ3周年記念セレモニーを水戸済生会総合病院新館5階、丹生ホール

で開催しました。村田実院長の挨拶に始まり、乳がん看護認定看護師鈴木和子さんの「乳がんについて」の講演、続いて、水戸シルバーリハビリ体操指導師小沼さんの生き生きヘルス体操が行われました。リハビリ体操では椅子に座っての体操でしたが、普段使っていない筋肉や関節を久しぶりに動かしたので痛さもありましたが、心地よいものでした。



休憩を挟んで、三味線奏者安田さんの演奏。民謡、童謡、唱歌、演歌など多彩な曲目が演奏され、伴奏に合わせ合唱も出来ました。今回は、講演が「乳がんについて」でしたので女性の参加者が多く、総勢28名も参加して頂きました。

## がん教育実践記録

### (3) 事前事後実施アンケートの考察

アンケートの解析は、事前に以下の4項目：①がんは治らない重い病気であると思いますか ②がんは予防できると思いますか ③がんは治療できると思いますか ④がんについて家族や友達と話合おうと思いますか、の調査をしており、同じ項目を授業後に再調査した。回答は選択方式と自由記載方式をとった。

#### 【①がんは治らない重い病気であると思いますか】

重い病気と思うかについての結果は、3校の総計に基づき表1に纏めた。

表1 がんは治らない重い病気であると思いますか

	授業前		授業後	
	回答生徒数	%	回答生徒数	%
そう思う	132	25	20	4
少しそう思う	179	35	78	15
あまりそう思はない	119	23	162	32
思わない	78	17	249	49
計	508	100	509	100

がんは重い病気と思うかについて「そう思う」と「少しそう思う」と答えた回答生徒数は授業前調査に比べ授業後で顕著に減少し、回答率は、事前の約



25%、34%に比べ事後が約4%、15%へと減少した。一方、「思わない・あまり思はない」の人数は、3校とも事前に比べ、事後は約2倍から6倍と増え、合わせると、事前の40%に比し、事後は80%を超えた。

【② がんは予防できると思いますか】

問2については表2に3校まとめた全体像を記した。

表2 がんは予防できると思いますか

	授業前		授業後	
	回答 生徒数	%	回答 生徒数	%
そう思う	264	53	358	72
少しそう思う	163	33	120	24
あまりそう思はない	56	11	14	3
思わない	15	3	7	1
計	498	100	499	100

授業前で「そう思う」と答えた生徒数が3校合計で53%、「少しそう思う」が33%合わせて、80%を超えているのに比し、「思わない・あまり思はない」が事前で11%と3%で少なかった。生徒らに予防の期待感が高いことが読み取れる。事後調査は3校とも「そう思う」の回答数が著明に増大し、回答率も事前53%に対し72%で、「少しそう思う」の回答数の24%を加えると、95%を超えた。

各校とも、「そう思う」「少しそう思う」の回答数が、「あまりそう思はない」「思はない」の回答数に比し、事前から多い傾向にあり、生徒らは、がんの予防が可能であることを期待し、信じており、授業後にさらにそれが「そう思う」という気持ちに傾いたことが判る。

【③ がんは治療できると思いますか】

問3について、3校の生徒とも授業前に「そう思う」「少しそう思う」と回答した数は「思はない」「あまり思はない」と答えた人数より、圧倒的に多く、それらの割合も事前事後とも87%~94%を示した。予防への期待感と同様、治療への期待と信頼の大きさが伺えた。

表3 「がんは治療できると思いますか」

	授業前 (%)		授業後 (%)	
	回答 生徒数	%	回答 生徒数	%
そう思う	227	45	325	65
少しそう思う	213	42	145	29
あまりそう思はない	48	9	21	4
思わない	18	4	8	2
計	506	100	499	100

文責 佐藤

「みかんの花咲く丘」の思い出

後藤睦子

みかんの花が咲いている  
思いでの道、丘の道  
はるかに見える青い海  
お舟が遠く、かすんでる



黒いけむりを はきながら  
お舟はどこへ行くのでしょうか  
波にゆられて 島のかげ  
汽笛がぼおっとなりました

いつか、来た丘  
母さんと一緒に眺めたあの島よ  
今日も、一人で見ていると  
やさしい母さん思われる

私の小学生のころ、終戦直後に川田正子、孝子姉妹が日立の宮田小学校にやって来ました。今のように体育館はなく、校庭で歌ってくれたと思います。オカッパ頭に白い大きなリボンを着けて、とてもかわいいな~と思いました。

みかんの花はいつ頃咲いて、どんな色をしているのか、お恥ずかしながら当時の私はわかりませんでした。今はスマホで検索して見ることができ、5月初旬に咲いて7月頃には実をつけるということもわかります。この歌は2番までで3番目の歌詞は、なぜか、GHQの検閲がかかり、伊東行き列車の中でわずか30分ぐらいで出来たとのこと！ 1946年8月にNHKで放送されたようですが、当時はラジオでさえ各家庭にはなかった時代でした。母校の小学校に少女歌手が来て、しかも私達はボロ服だけど、かわいいドレスで白い大きなリボンがとても印象的で、私の記憶に残っております。

この年になっても、「やさしい母さん思われる」はいいですね、母を思い出します

家族も疲れている

埴喜一

がんを闘っている本人を支えている家族は、予想以上の強いストレスを持っています。特に経過がはかばかしくない場合、夫や妻や子供が大きな不安を抱え、精神的あるいは肉体的な疲れでダウン寸前であることも少なくありません。家族は決して超人ではなく我々と同じ弱い人間なのです。

そのためにも一人一人が重荷を負うのではなく、家族・親戚が交代でケアする必要があります。家族も時には現場を離れリラックスしてリフレッシュする時間が必要です。すなわち、家族同志が支え合う会があるといいと思います。家族も癒されたいのです。毎日の生活に自分をサポートしてくれる人が多いほど楽しみを持つことが出来、結果として、お互いに励まし合う戦友を作ることで大変な力になります。何とか苦しい戦いを勝ち抜くためにも家族に癒

しの機会を持っていただきたい。希望があるから人は生きられるのです。希望があるからがんと闘えるのです。

\*がん患者家族の会は必要です。その必要性を認識した方は、率先して立ち上げてくれるとありがたい。他府県にはすでに立ち上がっています。

## がん患者サロンの近況

### しろやまざくら

7月18日は4周年記念セレモニーを予定しております。下表は7月以降の勉強会の予定表です。

7月18日	サロン4周年記念式典	院長講話
8月15日	自由テーマ	患者発表
9月19日	分子標的薬とは	薬剤師
10月17日	痛みとその緩和	がん性疼痛緩和認定看護師 木村梨奈
11月21日	インフルエンザ対策	感染管理認定看護師 岩島知子
12月19日	クリスマスイベント	副院長講話
1月16日	自由テーマ	患者発表
2月20日	看護師のがん患者の傾聴	がん化学療法認定看護師 細谷恵美
3月20日	相談支援センターの役割	

### ハマナス

7月の2周年セレモニーは延期になり、9月28日に行います。それにより、7月の勉強会は、「がん患者とMSWの仕事」と題し、中山さんをお願いしています。

月日	勉強会テーマ	演者
7月27日	がん患者とMSWの仕事	医療社会事業専門員 中山 裕暁
8月24日	自由テーマ	
9月28日	開設2周年セレモニー	
10月26日	がん患者のための食事のとり方	管理栄養士里見麻希子
11月16日	がんリハビリについて	理学療法士伊東 光修
12月21日	クリスマス会と音楽療法	
1月25日	訪問看護の現状	在宅看護センター和音 黒沢 薫子
2月22日	臨床検査値について	臨床検査技師永井信浩
3月22日	肺がん患者の体験談	

### なでしこ

下記の予定は変更することがありますので、お問い合わせください。

月日	勉強会テーマ	演者
7月6日	医療麻薬について	薬剤師
8月3日	夏場に気を付けるお口の中	
9月7日	三味線の音色を楽しむ	
10月5日	お茶会	
11月2日	インフルエンザ・ノロウイルス	
12月7日	クリスマスコンサート	
1月11日	冬に向けての体力づくり	理学療法士
2月2日	笑いヨガ	
3月1日	体温を温めるアロマセラピー	

## 友部やまびこ

4年目に向けてのスタートです。7月以降の勉強会の予定表です。

7月3日	大腸がんの治療と予後	認定看護師 鈴木
8月7日	自由テーマ	
9月4日	分子標的薬とは	薬剤師 立原さ
10月2日	痛みとその緩和	未定
11月6日	インフルエンザ対策	認定看護師 宮川
12月4日	クリスマスの集い	
1月9日	自由テーマ	
2月 日	がん治療と口腔衛生	認定看護師 加倉井
3月 日	肺がんの治療と予後	呼吸器外科医師

## サロン情報



### サロン例会開催日

サロン名	備考
友部やまびこ	毎月第1月曜日13:00～ 県立中央病院研修センター
なでしこ	毎月第1木曜日14:00～ 済生会病院丹野ホール
しろやまざくら	毎月第3火曜日10:00～ 水戸医療センター患者教室
ハマナス	毎月第4木曜日11:00～ 茨城東病院療育訓練棟

## NPO法人茨城県がん地域医療を考える会事業

日時	事項
7月11日	友部中学校がん授業
7月23日	考える会例会 (13:00田口宅)
未定	明光中学校がん授業
11月15日	青葉中学校がん授業
11月25日	がん患者会・サロン交流会 と県民公開講座

例会参加の有無をお知らせください

### 編集後記：

今年は、梅の実りが悪いとのこと。我が家の梅も一昨年の1/10だ。サイズは変わらないが、量が少ない。天候のせい、剪定の仕方が悪かったのかと、自分にはどうにもならない悩みや反省をしている。一方、梅雨とはいえ、雨の少ない日々に、家庭菜園の野菜や草花の水不足を憂えるが、発芽したての新芽にあうと何時もうれしい。種を蒔いた甲斐があった、世話をした甲斐があったと納得し感慨にふける。何事にも、報われる嬉しさは何にも替えがたい。

文責 佐藤

発行：NPO法人茨城県がん地域医療を考える会  
TEL/FAX 029-306-8406、  
mail:y-sato@blue.ocn.ne.jp